

高感度 *in situ* HCR用ヘアピンDNA
ISHpalette™
Short hairpin amplifier

7月24日(月) 11:30 ~ 12:30
Room B 「萩」(会議棟 2F)

司会：蒔苗 亜紀 (ネッパジーン株式会社)

講演 1 ISHpalette™ の原理とその応用

東邦大学 医学部 解剖学講座 准教授 **恒岡 洋右 先生**

講演 2 *in situ* HCR を用いた
マウス下垂体の発生制御因子解析

東京慈恵会医科大学 生化学講座 講師 **吉田 彩舟 先生**

ISHpalette™ は簡便で高感度な検出を行える *in situ* ハイブリダイゼーション試薬です。mRNA 1分子のイメージングが可能であり多重染色も容易であるという類似の高感度技術と同様の長所をもつだけではありません。

- ・ 低コスト化の実現
- ・ 容易に免疫染色と併用可能
- ・ ProK 処理等の浸透処理が不要で組織へのダメージが少ない
- ・ ステップ数が少ないのでトラブルシューティングが容易
- ・ 柔軟性が高く、プロトコルを変えずに様々な組織タイプに適用可能
- ・ 得られた画像データから mRNA 定量化が可能

以上の長所も併せ持っています。本セミナーでは開発者である恒岡洋右先生より、ISHpalette™ の紹介とその応用について、また吉田彩舟先生からは *in situ* HCR 法を使用した現在のご研究について、それぞれご講演いただきます。